

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
商工業振興資金貸付事業	商工課	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	6,310,260	806,585	7,116,845				806,585	
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 地域経済を支える中小企業の安定的な経営と円滑な事業活動に必要な融資を支援するため、鳥取県と協調した制度融資を実施するもの。			補正の理由 企業の設備投資の増加や創業等、増加傾向にある資金需要に対応するため、予算を増額するもの。			補正額の特定財源の内訳						
						財源	財源名	金額	区分	金額		
(2)事業の必要性 経営基盤の弱い中小企業の経営の安定と地域経済の活性化を図るため、事業の実施が必要である。			内容 新規需要開拓設備資金 390,150千円 経営再生円滑化借換特別資金 196,029千円 経営体質強化資金 67,122千円 創業支援資金等 153,284千円 合計 806,585千円			諸収入	商工業振興資金貸付金元利収入	806,585	21 貸付金	806,585		
						根拠法令						

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
企業立地促進補助金(商工課)	商工課	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	13,776	13,154	26,930					13,154
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 市内または鳥取県西部地区の企業の工場等の新增設、移転に伴い生じる工場建屋、設備等の投下固定資産や新規雇用増に対して、補助金を交付する。			補正の理由 新たに企業の設備投資や雇用の拡大を充実・促進する必要があるため、予算を増額し対応するもの。			補正額の特定財源の内訳						
						財源	財源名	金額	区分	金額		
(2)事業の必要性 企業の設備投資及び雇用の拡大を促進し、地域経済の活性化を図るため必要である。			内容 工場立地補助金 1件 投下固定資産に係る固定資産税相当額を補助 1,554千円 雇用促進補助金 13件 新規雇用(市内在住者)に係る補助 100千円×116人=11,600千円 うち市内企業分 1件 3人分 うち鳥取県西部企業分 12件 113人分						19 負担金補助及び交付金	13,154		
						根拠法令						

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
流通業務団地立地促進補助金	経済戦略課	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費		900	900					900
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 米子流通業務団地の土地を米子市から買受け、その取得日から3年以内に流通業務施設の立地に着手し、操業を開始する企業に対し補助金を交付する。 (2)事業の必要性 流通業務団地の分譲の促進するとともに進出企業の雇用拡大を図るため、事業の実施が必要である。			補正の理由 新たに進出企業の雇用拡大を支援する必要があるため、予算を計上するもの。 内容 補助対象企業件数 1件 新規常用雇用者(市内在住者)一人30万円			財源	財源名	金額	区分	金額		
									19 負担金補助及び交付金	900		
根拠法令 米子流通業務団地雇用促進補助金交付要綱												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
企業立地促進補助金(経済戦略課)	経済戦略課	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	218,479	5,750	224,229					5,750
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 本市への新たな企業進出や既存の誘致企業の増設等を促進するため、誘致企業に対し、工場立地促進補助金、雇用促進補助金、用地取得補助金による支援を行う。 (2)事業の必要性 地方のおかれている厳しい状況の中で、自治体間競争に打ち勝ち、企業誘致を実現していくためには、企業にとって魅力のある支援制度を提案していくことが必要である。			補正の理由 新たに誘致企業を支援する必要があるため、予算を増額し対応するもの。 内容 雇用促進補助金 1件 新規常用雇用者(市内在住者)一人100万円(工場新設時)			財源	財源名	金額	区分	金額		
									19 負担金補助及び交付金	5,750		
根拠法令 米子市企業立地促進補助金交付要綱												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
6次産業化推進事業	経済戦略課	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	5,833	36,000	41,833		30,750			5,250
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 農業者等が自らが加工・製造・流通・販売までを主体的に取り組む6次産業化や農林水産業と商業・工業が連携して商品開発に取り組む農商工連携等を進める6次産業化により、事業者の所得向上と地域経済の活性化を図る。			補正の理由 新たに6次産業化や農商工連携を支援する必要があるため、予算を増額し対応するもの。			財源		財源名		金額	区分	金額
(2)事業の必要性 6次産業化の実践は、農林水産業と食品加工や販売など異業種が連携することとなり、新たな産業の創造や雇用の創出が導かれ地域の活性化につながることから、事業の実施が必要である。			内容 農業者等のプランを実現するために必要な施設・機械設備等の経費を助成する。 6次産業型 2件 31,500千円×2/3=21,000千円 農商工連携型 1件 30,000千円×1/2=15,000千円			県	6次産業化推進事業補助金	30,750	19 負担金補助及び交付金		36,000	
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
産学官連携しごとの種(シーズ)づくり支援事業	経済戦略課	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費	400	800	1,200					800
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳				節		
(1)事業の概要 市内企業が県内の高等教育機関や研究機関と連携し、将来的に「仕事」を生み出すような研究開発や調査等の取組に対し、支援を行う。産学官が連携した研究開発や調査等を支援することで、地域で新たな産業の育成を促す。			補正の理由 新たな地元企業による研究等に対し、新産業の育成支援を行う必要があるため、予算を増額し対応するもの。			財源		財源名		金額	区分	金額
(2)事業の必要性 中小企業や零細企業が多い地元企業にとって、企業単体で製品のエビデンス(根拠づけ)を獲得したり事業の可能性を調べることは困難であることから、産学官が連携して研究や調査を行うことが、付加価値の高い新産業を生み出すために必要である。			内容 県内の高等教育機関、研究機関又はインキュベーション施設(起業や新分野の開拓・研究開発等を支援する施設)と市内民間企業・団体が連携した研究や調査に対し、費用の補助を行う。 補助件数 4件 補助率3/4、上限20万円、補助期間は最長12ヶ月								19 負担金補助及び交付金	800
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
角盤町商店街活性化事業	商工課	7 商工費	1 商工費	2 商工業振興費		360	360					360
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 角盤町エリアについて、官民で連携し一体となってエリア全体の活性化を図っていくため、にぎわい創出に資する具体的な取組を検討する。			補正の理由 角盤町エリアの活性化の検討を迅速に実施するため、予算を計上するもの。			補正額の特定財源の内訳						
						財源	財源名	金額	区分	金額		
(2)事業の必要性 平成28年1月のやよい閉店から角盤町商店街への来街者が減少、賑わいが低下している。商店街の集客力低下や、これに起因する地価の下落など様々な状況が変化しており、迅速で的確な対応をしていくことが強く求められているため、事業の実施が必要である。			内容 旅費 291千円 高速道路通行料 49千円 資料作成費等 20千円			地方債	温浴施設整備事業	3,200	15 工事請負費	3,200		
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
温浴施設改修事業	よどえまちづくり推進室	7 商工費	1 商工費	3 観光費		3,200	3,200			3,200		
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 淀江ゆめ温泉の排水の汚れを吸着するための浄化槽膜ユニットの取り替えを行う。			補正の理由 夏から秋にかけての繁忙期に備え、施設の機能を担保するため、予算を計上するもの。			補正額の特定財源の内訳						
						財源	財源名	金額	区分	金額		
(2)事業の必要性 淀江ゆめ温泉には年間10万人以上の入浴利用者があるが、平成12年8月のオープンから15年以上が経過しており、排水時の浄化機能を確保し、良好な利用環境を維持する必要がある。			内容 浄化槽膜ユニット取替工事一式 @3,200,000円			地方債	温浴施設整備事業	3,200	15 工事請負費	3,200		
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
ガラス工芸品による誘客戦略事業	観光課	7 商工費	1 商工費	3 観光費		900	900					900
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 ガレ・ドーム兄弟を中心としたオールニューヴォー期のガラス工芸品等の寄贈を受け、米子市立美術館でのお披露目展示会を開催するとともに、市内の民間施設と連携した展示、保管など適切な管理と効果的な利活用を行う。			補正の理由 寄贈者との協議、美術館での展示等の予定が整ったことから、予算を計上し対応するもの。			節						
						財源		財源名		金額	区分	金額
(2)事業の必要性 誘客促進や地域及び経済の活性化に活用するため、事業の実施が必要である。			内容 ・受贈するにあたり、事前協議、調査、契約等に要する経費 委託料(工芸品輸送費) 823千円 寄贈者旅費 37千円 有料道路通行料 40千円 ・展示会 平成29年8月5日～27日(20日間)						9 旅費	37		
									13 委託料	823		
									14 使用料及び賃借料	40		
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
ドリームサッカーinよなご開催事業	観光課	7 商工費	1 商工費	3 観光費		350	350					350
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 一般財団法人自治総合センターとの共催により、日本代表経験者の元Jリーガーの派遣を受け、チュウブYAJINスタジアムを舞台にサッカークリニック及び小学生へのサッカー教室並びに親善試合を実施する。			補正の理由 自治総合センターが本市での開催を正式決定したことから、予算を計上し対応するもの。			節						
						財源		財源名		金額	区分	金額
(2)事業の必要性 市民募金をもとに完成させたチュウブYAJINスタジアムの利用を通じた明るいまちづくりを一層充実させるとともに、地域内外からの集客を図り、交流人口の増加と経済活性化を図るため、事業の実施が必要である。			内容 事業運営負担金 350千円						19 負担金補助及び交付金	350		
根拠法令												

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
トライアスロン皆生大会開催支援事業	観光課	7 商工費	1 商工費	3 観光費		7,894	7,894				5,894	2,000
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 第37回全日本トライアスロン皆生大会の一部を業務委託し、直接支援することにより、皆生温泉の活性化を図るとともに、米子市の夏のイベントとして全国に情報発信する。			補正の理由 スポーツ振興くじ助成金の交付決定があったことから、予算を計上し対応するもの。			補正額の特定財源の内訳						
(2)事業の必要性 全日本トライアスロン皆生大会は、国内発祥の地としてのイメージが定着した国内でも屈指の大会であり、観光庁の推進するスポーツツーリズムにかなった大会である。参加者は、世界を目指すアスリートから一般参加者まで幅広く、住民の応援やボランティアに支えられており、本大会の開催は、地域住民の一体感の醸成及び大会開催による直接的経済効果、情報発信による波及効果があり、本市の観光事業の核を担うものであり、継続して開催する必要がある。			内容 第37回全日本トライアスロン皆生大会運営業務委託 選手記録集計システム業務 大会本部設営 ポスター等印刷物作成 等			財源	財源名	金額	区分	金額		
根拠法令						諸収入	スポーツ振興くじ助成金	5,894	13 委託料	7,894		

(単位:千円)

事業名	所管課	款名称	項名称	目名称	補正前	補正額	計	補正額の財源内訳				
								特定財源				一般財源
								国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
皆生温泉圏域観光拠点事業	観光課	7 商工費	1 商工費	3 観光費		2,988	2,988					2,988
事業の概要と必要性			補正の理由			補正額の特定財源の内訳						
(1)事業の概要 米子市観光センターの改修を契機として、皆生温泉への誘客を促進するため、エコ・スポーツツーリズムのツアーデスクを設置し、また、インバウンド対策として郷土芸能公演実施を支援する。			補正の理由 観光センターの改修を契機として施設及び圏域の観光誘客を促進するため、予算を計上し対応するもの。			補正額の特定財源の内訳						
(2)事業の必要性 平成29年度中に観光センターの改修を行って施設の利便性を上げ、この施設が鳥取県西部や中海圏域の観光の拠点となることが期待されている。これを契機として、施設自体への誘客、さらには皆生温泉への誘客を促進するために、施設内で新たな事業を行うことが必要である。			内容 ・エコ・スポーツツアーデスク設置 1,688千円 ・郷土芸能公演支援 300千円 ・上記2事業及び観光センターリニューアルの 広告宣伝費(インバウンド対策含む) 1,000千円			財源	財源名	金額	区分	金額		
根拠法令									19 負担金補助及び交付金	2,988		